

中央ブータンの守護尊・ケーブ・ルンツェンの 法要儀軌（翻訳編）

西田 愛¹⁾，今枝由郎²⁾，熊谷誠慈²⁾

- 1) 神戸市外国語大学
2) 京都大学こころの未来研究センター

中央ブータンのブムタン地方を構成する4つの谷¹⁾の守り神であるケーブ・ルンツェン (skyes bu lung btsan) は、ネベスキー・ウオジュコヴィッツ氏が紹介するように「高貴な生まれの谷のツェン」、あるいは「力強い谷のツェン」という意味であって、本来は固有名詞ではない²⁾。氏は、「雷神」(thog gi rje, “the lord of lightning”) という名でケーブ・ルンツェンに言及するものの、ブムタン地方の守り神であることには触れていない。しかし、ブムタン地方では、これが唯一ではないにせよ最も重要なツェンであり、ことさらにその名前を記して他のツェンと区別する必要がないので、普通名詞が固有名詞として使われている。

ツェン (btsan) は、元来チベット固有の神祇の一種で、チベット人の宇宙垂直三界区分法 (srid pa gsum) によれば、ラ (lha) の住む天界と、ル (klu) の住む地下界の中間、すなわち虚空・地上界に住まう神である。仏教伝来にとまって、仏教の中に受容・吸収され、現在でも地方神として重要な役割を演じている。

地元の伝承では、ケーブ・ルンツェンは、ブータン人の埋蔵宝典発掘僧 (テルトン) として著名なパマ・リンパ (Pad ma gling pa: 1450-1521) の子息であるダワ・ギェルツェン (Zla ba rgyal mtshan: 1499-1586) が、東チベットのカムからブムタンへ帰郷する際に連れてきたと言い伝えられており、それ以来現在に至るまでブムタン地方の人々に広く信仰されている。しかし東チベットにおける起源、信仰形態に関しては未詳である³⁾。この伝承は、この種の神々の移動性をよく示す大変興味深い例であると言える。

以下に紹介する文献は、ケーブ・ルンツェンに対する短い法要儀軌書であり、次の11部から構成されている。

- | | |
|-------|---------------------------------|
| I) | 観想 (mngon rtogs) |
| II) | 召喚 (sryan 'dren) |
| III) | 宣誓 (dam bzhag) |
| IV) | 供物 (mchod pa) |
| V) | トルマの奉納 (gtor bsngo) |
| VI) | 賛嘆 (bstod pa) |
| VII) | 所望の成就 (bskang ba) |
| VIII) | 誓願 (gnyer gsol) |
| IX) | 献香と献酒 (bsangs dang gser skyems) |
| X) | [著作奥書 (rtsom byang)] |
| XI) | [木版奥書 (par byang)] |

構成から明らかなように、本書はチベット仏教におけるこの種の著作の典型である。原版は、6葉からなり、版面はおおよそ30cm × 7cmである。著作奥書によれば、本書は、「あるテルトン (埋蔵宝典発掘僧)」の求めに応じてランジュン・カキャブ・ドルジェ (Rang 'byung mkha' khyab rdo rje: 1870/71-1921/22) が著わしたものである。ランジュン・カキャブ・ドルジェとは、言うまでもなく第15世黒帽カルマパのことである。しかし、ジョン・スミス氏の教示によれば、本テキストは、インドで出版されたカルマパ15世の著作集 (gsung 'bum) には含まれていない。また、著作を促した「あるテルトン」の名前は、本書には記されておらず、人物を同定できない。しかし、同じくスミス氏の教示によれば、このテルトンは、9世ペリン・ストゥル = テンジン・チョーキ・ギェルツェン (Pad gling gsung sprul Bstan 'dzin chos kyi rgyal mtshan: 1894-1925) の師であり、中央チベット南東部で活躍したデチェン・シルノン・ナムカイ・ドルジェ (Bde chen zil gnon nam mkha'i rdo rje: 19世紀) とのことである。

木版奥書によると、この版本は「最上の主」(mi rje drag shod) と称されるプンツォク・ワンドゥー

（Phun tshogs dbang 'dus）によって刊行された。彼は、初代ブータン国王であるウゲン・ワンチュク（U rgyan dbang phyug: 1862-1926）と最初の王妃であるリンチェン・ペルモ（Rin chen dpal mo）の孫であり、第2代国王であるジグメ・ワンチュク（Jigme med dbang phyug: 1905-1952）の甥に当たる。版木は、ツェリン・トブギエル（Tshe ring stobs rgyal）なる者とその兄弟によって彫られ、ブムタンのチョコレート谷（Chos 'khor）にあるウゲン・ワンチュク王の夏の宮殿であったペルリ（Dpal ri）つまりラメーゴンパ（Bla ma'i dgon pa）の中央堂（dbu rtse）に保管されていた。

地元の伝承では、版木はその後、隣接するチュメ谷（Chu smad）のタルパリン寺院（Thar pa gling）に移管され、現在に至ると言われる。本テキストに対する需要は根強く、インドでの再版を経て、今でもブムタンに広く普及している。

以下では、今枝（2006）に掲載されたテキストを元に作成した翻訳を提示する。今枝（2006）では、原本と再版本に記される綴り字等の差異に加えて、今枝自身によって校訂された読みが示されている。本稿では、翻訳とともに、新たに改定を加えた校訂テキストを提示する。その際、訳文はチベット文からの厳密な逐語訳ではなく、日本語として理解しやすい翻訳を心がけた⁴⁾。翻訳について特に説明が必要と思われる場合や、語彙の正確な意味が把握できず訳出していない箇所については、脚注に記す。また、校訂テキストの本文中には翻訳に採用した綴り字を提示し、原本および再版本にある異綴りや、翻訳に採用した綴り字が校訂者による場合は次の校訂記号を用いて脚注に提示する。

- ：本文中の綴り字
- R：再版本中の綴り字
- E：校訂者による綴り字

ケーブ・ルンツェンの法要儀軌（翻訳）

1) ケーブ・ルンツェン [の] 観想

オーム スヴァバーヴァと唱える。

イダム（守護尊）として顕現した⁵⁾ 自身の前には、大変恐ろしいツェン（btsan）の国、サンダク・マルポが天に向かってそびえ立っている。[その] 頂上ではツェンの鳥が旋回している。中腹では吹

雪が渦巻き、麓では肉食動物が唸っている。霧が雲のようにたちこめ、鬱蒼とした森によって薄暗くなっている。数多の壮麗な湖と池によってすっかりと取り囲まれたサンダク・マルポの中には、銅の扉のある濃いえび茶色のセー（bse）⁶⁾ の城があり、その梁の装飾⁷⁾ は金で作られ、[その] 土台は鉄でできている。

屋根はトルコ石で葺かれており、宝珠でできた小尖塔など、美しく輝くような壮麗さを全て備えたその宮殿の中心には、

【[ここで] ティ [と唱える]】

全身赤色の誓約尊であるケーブ・ルンツェンがいる。[ケーブ・ルンツェンは] ツェン、スンマ（bsrung）、ダラ（dgra lha）⁸⁾ の王であり、[その] お体の色は、10万の太陽の光に包まれたルビーからなる須弥山のように輝き、穏やかな性質と犷猛な性質を併せ持っている。お体には、赤い絹の上着とセーの甲冑をまとい、高級な金の帯を結んでいる。御頭には、たくさんの宝石の縁取りによって飾られ、様々な絹の装飾がゆらめくセーの帽子をかぶっている。右には虎皮の矢筒、左には豹皮の矢筒を掲げ、セーの赤い盾が背中に渦巻いている⁹⁾。右手では赤い絹のついた赤いセーの槍を天に掲げ、左[手] ではトルコ石の矢とツェンを捕える赤い投げ輪を敵に向けている。

乗り物は、風の力を持つ赤いツェンの馬で、金の鞍に銀の鐙をつけ、金の馬銜にトルコ石の端綱をつけ、黒蛇でできた胸繫と尻繫をつけたものに乗っている。[その姿は] 大変恐ろしく威厳があり、周囲一体をツェンと10万の眷属が取り巻いている。幾多のツェンの鳥が[その] 上を旋回し、幾多のツェンの犬を従えた屠殺人たちが、刀を手に待ち構えている。強靱な八部の軍隊を従えた、[ケーブ・ルンツェンの] 頭上はオーム、喉はアー、胸はフームの文字によって飾られ、自身は神として顕現し、[その] 胸から光を放つ。ウユクのシャンのデモ、ツェンの右翼のダクマル、ブムタンのキーキ・リラ¹⁰⁾ のダクマル・ゴモ宮殿など、[たとえ] どこにおられようと、ダラの王[であるケーブ・ルンツェン] は、誓約尊である眷属を従え、虚空の赤い稲妻がすばやく[動く] ように、召喚に応じて一瞬のうちに眼前へ[出現する]。

バジュラ サマヤ ザー。

II) 召喚

ケー。

[ここ] プムタンは、自性清浄で自然にできあがった太古からの場所であり、霊験と変幻 [の力が宿る] すばらしい不滅の地であり、吉祥と福祿を備えた秘境であり、不死成就の聖なる隠れ里である。パドマ・サンバヴァの命令に従う偉大なケーブ・ルンツェンよ、大海のような威力の主であるお前を召喚したならば、[我々] 全員が喜びの微笑みによって [お前を] 明妃、家来、軍隊ともどもお迎えします。仏法と衆生に対して利益と幸福をもたらすために、直ちにこの祭祀の地にお出まし下さるようお願い申し上げます¹¹⁾。

シューララー ザーティクナン サマヤナラ カン

III) 宣誓

ケー。

原初 [インドにおいてお前は]、勇猛な秘密主・吉祥なるヘールカから灌頂をうけ¹²⁾、宣誓し、命を託した。[そして、ヘールカによって] 全ての神と魔の主にな命された。

間に [チベットでは]¹³⁾、力強き勝者パドマ・サンバヴァと持明者たちによって、不変の誓約という甘露 [のような] ものが [お前に] 与えられ、教えの管理が委ねられた。

今 [ブータンにおいて、その継承者たる] 真言行者の私が、全ての適切な物品などを用意して、妙なる調べによって [お前を] 召喚したならば、[それを] お聞きになって、委ねられた役目をお果たし下さい。

IV) 供物

供物の諸々は、[まずは] オーム スヴァバーヴァと唱える。オーム アーハ フーム ホーホを3度唱える。供物に相應しいあらゆる品々を供物の大雲として想起する¹⁴⁾。

ケー。

眷属を従えた誓約尊ケーブ [・ルンツェン] を喜ばせる雲の [ように積み上げられた] 供物を捧げます。

無限 [に広がる] 十方のすべての地に、自性として自然にでき上がった供物の品々である色鮮やかな花、芳しいお香、煌々たる灯明、香りをつけた水、好ましい食べ物、妙なる調べによる言い尽くせない程すばらしい音楽を供えます。

姿の美しいもの、心地の良い音、最上の香り、味わえば美味なる百味の食べ物、触感が綿の表面 [のように] やわらかい触り心地のもの、気持ちのよいものを供えます。

様々な穀物 [から作られた] 初仕込みの酒、誓約に背いた者の心臓の血、肉、骨をトルマとして山の様に積み重ね、偉大な荒ぶるツェンであるお前に捧げます。

他にも、あらゆる世界の供物¹⁵⁾ を全て不足なく集めて、万事に優れた供物を、雲のように [積み上げて] 捧げるので、聖域よりお受け取り下さい。

V) トルマの奉納

スヴァバーヴァと唱える。

空性なる宝珠でできた大きな頭蓋骨の器の中に、諸々のトルマの品々 [として] は、[仏法の] 障害である敵の肉、血、骨、命、息、魂、寿命、福德、威力、運氣などの一群、[すなわち] 本質的に五感を満足させる全ての品々が虚空を満たす程に集まっており、五肉は5つの甘露そのものになっている。

オーム アーハ フームと3度、
ナマハサルヴァ タターガタ アパローキテー オーム
サンバーラ サンバーラ フームと3度 [唱える]。

多宝如来に帰命奉ります。

美形如来に帰命奉ります。

無限如来に帰命奉ります。

無畏如来に帰命奉ります。

シュリーラージャ サパーリ、シュリーラージャ
サパーリと3度、
アカーロー、アカーローと3度 [唱える]¹⁶⁾。

雲のように広く高く [積まれた] 無尽蔵のテルマであるお供えのトルマは、全てに優れており、その加持されたトルマそのものを、偉大なテルマの守護者たるケーブ・ルンツェンとその従者たちに

捧げる。[お前はそれらの供物を] 喜び、満足するまで楽しんで後に、広くは、仏の教えとそれを理解し保持する者たちを守護し、殊には、この大寺院をはじめとする全ての地域において、病い、飢饉、争い、自然災害などの一切の災いが収まるようにお務め下さるようお願いいたします。身口意に関わる我々の願いが、余すところなく思い通りに叶えられ、無上の解脱である大菩提を成就するのに障害となる分別¹⁷⁾ という敵と障害物の一切を滅却する¹⁸⁾ という役目をお果たし下さい。

VI) 賛嘆

ケー。

不変なる大楽の世界より、どこであろうと現れ、遮られることのない大いなる智慧を持つ、恐ろしい姿 [をした] 偉大な荒ぶるツェンであるお前を賛嘆します。

無限に変幻する寂静と忿怒の様相の踊りを、さまざま見せて衆生を調伏する者、[すなわち] 幻術の申し子であるお前を賛嘆します。

パドマ [・サンバヴァ] の御言葉のしるしである如意宝珠のついた頭蓋骨をもち、託された重要なテルマの管理を一心になさる時、テルマの偉大な守護者として顕現する [お前を] 賛嘆します。

蓮華の房のような勝者の教え（仏教）を守るため [のお前の] 役目 [は] 太陽の光 [が蓮華を育てる] ように [仏教を育てるの] である。燃えさかるような偉大な力を持つ荒ぶるツェンであり、仏教を守る者であって、パドマ [・サンバヴァ] の親族 [であるお前] を賛嘆します。

ルビー色の輝きを持つ疾風の翼を備えたものに乗って、三千世界を一瞬にして駆け巡り、誓約に背いた者の魂と寿命を奪い取る [お前を] 賛嘆します。

喜びと幸福を与えるメンツンと自分自身の如き数多の眷属たちを従え、多様な武器を持ち、誓約に背いた敵を誅殺する [お前を] 賛嘆します。

そのほか、天地に充満する護法神や鬼神、ル、ツェン、サダー、ニェンの類いを眷属の兵として従えている [お前を] 賛嘆します。

その力によって、我々修行者の全ての災い（不調和）が静まり、幸せ（調和のとれたもの）が夏の湖のごとく増大し、広まるよう役目をお果たし下さい。

VII) 所望の成就

ケー。

善人を守り、悪人たちを制圧する四業¹⁹⁾ に精通した者であり、パドマ [・サンバヴァ] の命令に従う偉大なケーブ・ルンツェン [とその] 眷属たちの所望を叶えます。

虚空のごとく広大で、良い宝のできた器に、色、香り、味、滋養が備わった初物のお供えの品々と赤い血など [を入れて、] バリンガナの木を空へと振りかざし、所望を叶えます。

花、お香、灯明と香水、お供えの食事、妙なる調べによる演奏、[すなわち] 無限の色、声、香、味、触という妙欲の供物などによって所望を叶えます。

宝からなる立派な宮殿と7つの貴重な王の宝物と吉兆の品々、宝の壺と自生の穀物など、この世における吉祥の品々によって所望を叶えます。

[あなたが] 拠り所とする内、外、秘密のものと、乗るべき諸々、[つまり] 馬、雄牛、鳥、犬、そして毛の柔らかな赤い山羊などは、どれをお望みになろうとも、実物であれ、変幻したものであれ、調達して所望を叶えます。

ゆえに、偉大な荒ぶるツェン [であるお前も]、眷属も、厳守すべき秘密の誓約をお守り下さい。

一般であれ格別であれ、深遠なる勝者の教えである仏法から人々が離反することがないようにお守り下さい。

殊に、この寺をはじめとする [この] 世界では、害となる全ての不調和な災いが静まり、究極的に安寧で吉祥なる状態がすぐさま実現するよう役目をお果たし下さい。

VIII) ケーブ・ルンツェンの誓願

ホーホ。

力強く恐ろしいパドマ [・サンバヴァ] の智慧の化身であり、三世（過去世、現在世、未来世）の全ての仏の無限なる一切の役目を [担う] 存在であり、あらゆる守護尊の主たるものであって、法財・宝の主であるケーブ・ルンツェンと [その] 眷属たちよ、我々のことを心にお止め下さい。

衆生に対して利益と幸福の源となる尊い仏の教えを広め、仏教を守る者の寿命と行いを増長させ、殊に、大法輪たるこの寺院をはじめとする全ての

地域において病い、飢饉、争い、自然災害などの一切の災い [から人々を] をよく守り、4種の行い (四業) により、心に願う全ての事柄は何であろうとすぐさま成就し、最後には、大印を掌握する者によって、如意宝珠や如意樹のような仏法と衆生に対する大いなる利益と幸福がすぐさま成就するよう役目をお果たし下さい。

イエーダルマーなど。

IX) ケープ・ルンツェンの献香と献酒 ケー。

パドマ・トテンの系譜にあたるラマの御言葉のしるしである印の力を得る誓約を持つ者 [であって、] 在家者であるケープ・ルンツェンは、兄弟姉妹、子息と内外の大臣、家臣とともにここへお出まし下さい。

喜んでいただける雲 [のように積み上げられた] 供物を揃え、必要なものがひとつも欠けることなく、妙欲 [を満たす] 雲 [のように積み上げられた供物] を尽きることのない天の宝物庫の車輪として捧げます。

捧げた供物を受け取り、順縁を増やし、敵を服従させ、障害を抑制し、願う行為は全て成就させよ。

吉祥なる金剛阿闍梨の寿命を延ばし、不和や災いの状況から兄弟姉妹を守れ。

護法神の王の威力と勢力を増進させ、[ブータンが] 十方に栄えるように吉祥を授けよ。

X) [著作奥書]

以上は、偉大なテルトンの求めに従って、ランジュン・カキャブ・ドルジェが編纂したものである。

XI) [木版奥書]

志と行動において最上の君主であるブン [ツォク]・ワン [ドゥ] が、幻覚と暗闇の消えた澄んだ心 [と]、仏法への発心と大誓願の力によって、仏の教えが滅びないように経典の版木を完成させた。[この] 善業によって、数限りない一切の衆生がオーゴンの位²⁰⁾ を直ちに成就しますように。彫り師は、ツェリン・トプギエル兄弟2人である。この版木はペルリ [宮殿] の中央堂に安置されている。

善きかな。マンガラム。

ケープ・ルンツェンの法要儀軌 (校訂テキスト)

skyes bu lung btsan gyi gsol chog sgrigs su bkod pa
bzhugs so //

I) (1b) skyes bu lung btsan mngon rtogs ni /
om sva bha was sbyangs/

rang nyid yi dam du gsal ba'i mdun du rab tu 'jigs pa'i
btsan yul zangs brag dmar po gnam la snyogs pa/ / rtse
la btsan bya lding ba // sked par bu yug 'tshub²¹⁾ pa/
rtsa bar gcan gzan ngur ba/ /na bun sprin ltar gtibs²²⁾
cing nags tshal gtug pos dkrig pa/ / lhun sdug mtsho
dang rdzing bu du mas yongs su bskor ba'i zangs brag
dmar po'i nang du bse mkhar smug po zangs kyi sgo
can/ / kha bad gser las byas pa/ rmang gzhi lcags las
byas pa/ / g.yu yis lcog²³⁾ la rin po che'i ba gam sogs
mdzes shing brjid pa'i yon tan yongs su rdzogs pa'i pho
brang gi dbus na/ / tri/ dmar po yongs su gyur pas dam
can skyes bu lung btsan btsan bsrung dgra lha'i rgyal
po sku mdog padma rā ga'i lhun po²⁴⁾ la nyi 'od (2a)
'bum gyis 'khyud bzhin gzi 'od 'bar ba zhi zhing khro
ba'i nyams can/ sku la dar dmar gyi ber dang bse yi go
khrab gsol zhing rin chen gser gyi sked rags²⁵⁾ bcings
pa/ dbu la bse yi rmog zhu²⁶⁾ rin po che'i phra tshom du
mas brygan par sna tshogs dar gyi 'phru phod ldem pa/
stag dong²⁷⁾ g.yas dang gzig shubs²⁸⁾ g.yon du 'phyang
ba/ / bse phub dmar po rgyab tu 'khyil ba/ phyag g.yas
bse mdung dmar po dar dmar gyi ru msthon can gnam
du 'phyar zhing/ / g.yon pa g.yu yi mda' dang btsan
zhags dmar po dgra la 'phen pa/ / chibs su btsan rta
dmar po rlung gi shugs can gser gyi sga la dngul gyi
yob can/ / gser srab g.yu yi mthur²⁹⁾ can sbrul nag gi
gong rmed³⁰⁾ byas pa la 'chibs pa/ / rab tu 'jigs shing
brjid ba'i tshul gyis 'gying ba'i mtha' skor du btsan dang
'bum sde'i 'khor gyis bskor ba/ / btsan bya mang po
steng du lding³¹⁾ ba/ / btsan khyi mang po rol du³²⁾
'khrid pa/ / gshan pa gri thogs las la 'gyed pa/ / sde
bryad dregs pa'i dmad dpung 'khrigs par gsal ba'i spyi
bor om (2b) mgrin par âh³³⁾ thugs kar hûm gis mtshan
pa dang/ / rang nyid lhar gsal ba'i thugs ka nas 'od zer
'phros pas/ / 'u yug shang gi bre mo³⁴⁾/ / gtsang gi g.yas
ru'i brag dmar/ / bum thang skyid kyi ri bo brag dmar

sgo mo'i pho brang sogs rang bzhin gar bzhugs kyi
gnas dam can dgra lha'i rgyal po 'khor dang bcas pa
mkha' la glogs³⁵⁾ dmar 'khyugs pa bzhin skad cig gis
mdun du spyan drangs par³⁶⁾
badzra sa ma ya dzah

II) **spyan 'dren ni/**

kyai/
rang bzhin rnam dag lhun grub gdod ma'i gzhi/ /
ma 'gag ngo mtshar rnam 'phrul sgyu ma'i zhing/ /
bkra shis g.yang chags sbas yul bum thang zhes/ /
'chi med sgrub pa'i dben gnas dam pa nas/ /
padma'i bka' bsrung skyes bu lung btsan che/ /
mthu stobs rgya mtsho'i bdag po khyod 'bod na/ /
yum 'khor mngag gzhus dmag gi tshogs bcas pa/ /
thams cad dgyes pa'i 'dzum gyis mdun bsus nas/ /
bstan dang 'gro la phan bde sgrub pa'i phyir/ /
myur du mchod pa'i gnas 'dir gshegs su gsol/ /
shû la ra³⁷⁾ dzâ trig nan sa ma ya na ra kan/ /

III) **dam bzhag (3a) ni/**

kyai/
sngon tshe dpal chen he ru ka/
'dregs pa dus 'dzad³⁸⁾ gsang bdag gis/ /
dbang skur dam dran srog snying bzhes/ /
lha srin yongs kyi rje bor bskos/ /
bar du rgyal dbang padma dang/ /
rig 'dzin brgyud par bcas rnam kyis/ /
'gyur med dam tshig bdud rtsi'i rdzas/ /
byin nas bstan pa'i gnyer kha gtad/ /
da lta sngags 'chang bdag cag gis/ /
mthun pa'i rdzas tshogs kun bshams nas/ /
snyan pa'i dbyangs kyis³⁹⁾ 'bod lags na/ /
gsan te bcol ba'i 'phrin las mdzod/ /

IV) **mchod pa ni/**

mchod rdzas rnam om sva bha⁴⁰⁾ was sbyangs/
om âh hûm hoh⁴¹⁾ lan gsum/ sbyangs
rtogs pas 'dod dgu'i tshogs thams cad du snang ba'i
mchod pa'i sprin chen por 'gyur/ /
kyai/
dam can skyes bu 'khor bcas la/ /
dgyes pa'i mchod sprin 'bul ba ni/ /
mtha' yas phyogs bcu'i zhing kun tu/ /

rang bzhin lhun grub mchod pa'i rdzas/ /
mdangs mtshar me tog dri zhim spos/ /
snang gsal sgron me byug pa'i chab/ /
'dod dgu'i zhal zas dbyangs snyan gyis/ /
rol sgra bsam mi khyab pa⁴²⁾ mchod/ /
gzugs mdzes sgra snyan dri mchog dang/ / (3b)
myong na⁴³⁾ zhim pa'i ro brgya'i zas/ /
dbang po'i shing bal steng 'jam pa'i/ /
reg bde yid du 'ong bas mchod/ /
'bru sna chang phud gser skyems dang/ /
nyams pa'i snying khrag sha rus kyi/ /
gtor ma ri ltar sprung pa 'di/ /
btsan rgod chen po khyod la 'bul/ /
gzhan yang srid dang zhi bo'i mchod/ /
ma tshang med pa kun bsdu⁴⁴⁾ nas/ /
kun bzang mchod pa'i sprin phung bzhin/ /
'bul gyi dmigs med dbyings nas bzhes/ /

V) **gtor bsngo ni⁴⁵⁾ /**

sva bha⁴⁶⁾ was sbyangs/
stong pa'i ngang⁴⁷⁾ las rin po che las grub pa'i thod pa'i
snod yangs shing rgya che ba'i nang du/ / gtor rdzas⁴⁸⁾
rnams pa dgra bgegs kyi sha khrag rus pa srog dbugs⁴⁸⁾
bla tshe khar rje⁴⁹⁾ dbang thang lung rta la sogs pa 'dus
pa'i phung po nam mkha'i thams cad khyab pa ngo bo
'dod pa lnga'i⁵⁰⁾ longs spyod thams cad dang sha lnga
bdud rtsi⁵¹⁾ lnga'i rang bshin du gyur/ /
om âh hûm/ lan gsum/
na mah sarba ta thâ⁵²⁾ ga ta a ba lo ki te om sambha ra
sambha ra hûm/ lan gsum/
bcom ldan 'das de bzhin gshegs pa rin chen mang la
phyag 'tshal lo/
de bzhin gshegs pa gzugs mdzes dam pa la phyag 'tshal
lo/ / (4a)
de bzhin gshegs pa sku 'byams klas la phyag 'tshal lo/ /
de bzhin gshegs pa 'jigs pa thams cad dang bral ba la
phyag 'tshal lo/ /
shu la râ dza⁵³⁾ sa pâ⁵⁴⁾ ri x⁵⁵⁾ lan gsum/ /
a kâ ro x/ lan gsum/ /
mchod sbyin gyi gtor ma rgya che zhing dpang mtho
ba zad med kyi gter kun bzang mchod sprin gyi rang
bzhin du byin gyis rlabs pa 'di nyid/ / gter bdag chen
po skyes bu lung btsan 'khor dang bcas pa rnam la 'bul
lo/ /

dgyes shing tshim par rol nas spyir sangs rgyas kyi
 bstan pa de 'dzin dang bcas pa bsrungs zhing skyongs
 ba dang/ bye brag tu gdan sa chen po 'di nyid kyi⁵⁶⁾
 gtsos yul 'khor thams cad du nad mug 'khrug rtsod
 'byung bzhi'i gnod pa la sogs pa mi thun pa'i phyogs
 thams cad zhi bar mdzad du gsol/ /
 sgo gsum bdag cag 'khor dang bcas pa'i bsam don ma
 lus pa yid bzhin du grub nas thar pa bla na med pa'i
 byang chub chen po sgrub pa la bar du gcod pa'i gnyis
 'dzin gyi dgra bgegs thams cad rig pa ye shes kyi
 dbyings su bsgral ba'i 'phrin las mdzad du gsol/ /

VI) **bstod pa ni/**

kyai/
 'gyur (4b) med bde chen dbyings nyid las/ /
 'gag med ye shes chen po'i rtsal/ /
 cir yang 'char ba'i 'dreg⁵⁷⁾ pa'i tshul/ /
 btsan rgod chen po khyod la bstod/ /
 sgyu 'phrul mi zad sna tshogs kyi/ /
 zhi chags khro bo'i nyams kyi gar/ /
 rnam⁵⁸⁾ mang ston nas 'gro 'dul mkhan⁵⁹⁾ //
 sgyu ma'i skyes bu khyod la bstod/ /
 padma'i bka' rtags yid bzhin nor/ /
 thod du bcings nas zab gter gyi⁶⁰⁾ / /
 gnyer bcol g.yel med mdzad pa'i tshe/ /
 gter bdag chen por snang la bstod/ /
 rgyal bstan pad tshal skyong ba la/ /
 'phrin las nyin byed dbang po'i zer/ /
 btsan rgod 'bar ba mthu stobs can/ /
 bstan 'dzin padma'i⁶¹⁾ gnyen der bstod/ /
 padma râ ga'i⁶²⁾ mdangs 'dzin pa'i/ /
 myur mgyogs rlung gi gshog ldan⁶³⁾ la/ /
 bcibs nas stong gsum yud kyi⁶⁴⁾ nyul/ /
 nyams pa'i bla tshe 'phrog la bstod/ /
 dgyes bde ster ba'i sman btsun dang/ /
 rang 'dra'i 'khor tshogs mang po bcas/ /
 ma nges mtshon cha sna tshogs 'dzin/ /
 dam nyams⁶⁵⁾ dgra bo'i gshed la bstod/ /
 gzhan yang bka' sdod⁶⁶⁾ mi ma yin/ /
 klu btsan sa bdag gnyan gyi tshogs/ /
 sde dpung gnam sa'i khyon gang (5a) ba/ /
 'khor dang bcas la bstod par⁶⁷⁾ bgyi/ /
 de'i mthus⁶⁸⁾ rnal 'byor bdag cag gi/ /
 mi mthun phyogs kun nyer zhi nas/ /

mthun rkyen dbyar gyi mtsho bzhin du/ /
 'phel zhing rgyas⁶⁹⁾ ba'i 'phrin las mdzod/ /

VII) **bskang ba ni/**

kyai/
 dkar phyogs skyong zhing nag po'i rtsa lag sde/ /
 tshar gcod⁷⁰⁾ 'phrin las bzhi la mnga' brnyes pa/ /
 padma'i bka' bsrung skyes bu lung btsan che/ /
 'khor dang bcas pa'i thugs dam bskang ba ni/ /
 mkha' ltar yangs pa'i rin chen snod bzang du/ /
 mdog dri ro bcud phun sum tshogs⁷¹⁾ gyur ba'i/ /
 dza gad phud dang dmar 'chol rakta tshogs/ /
 ba ling dgung du 'phyar bas thugs dam bskang⁷²⁾/ /
 me tog bdug spos snang gsal mar me dang/ /
 dri chab zhal zas dbyangs snyan rol mo'i sgra/ /
 gzugs sgra dri ro reg bya dpag med sogs/ /
 nyer spyod 'dod yon mams kyi⁷³⁾ thugs dam bskang⁷⁴⁾/ /
 rin chen las grub gzhal med khang bzang dang/ /
 rgyal srid rin chen bdun dang bkra shis rdzas/ /
 gter gyi bum dang ma rmos lo tog sogs/ /
 srid na phun tshogs dpal gyis⁷⁵⁾ (5b) thugs dam
 bskang⁷⁶⁾/ /
 phyi nang gsang ba'i rten dang bzhon pa'i tshogs/ /
 rta glang bya khyi ra dmar spu zhol sogs/ /
 so so'i thugs la ci bzhed de dang der/ /
 dngos 'byor yid kyi sprul pas thugs dam bskang⁷⁷⁾/ /
 de ltar btsan rgod chen po 'khor bcas kyi/ /
 gsang ba'i thugs dam gnyan po bskong mdzod la/ /
 rgyal bstan spyi dang bye brag zab gter gyi/ /
 chos dang gang zag mi 'bral bzhin du skyong/ /
 khyad par gdan sa 'dis mtshon 'jig rten khams/ /
 mi mthun gnod pa'i 'gal rkyen kun zhi nas/ /
 gnas skabs mthar thug⁷⁸⁾ bde ba'i dpal chen po/ /
 myur du grub pa'i 'phrin las mdzad du gsol/ /

VIII) **skyes bu lung btsan gyi gnyer gsol ni/ /**

hoḥ
 dbang drag⁷⁹⁾ padma'i ye shes kyi rnam rol dus gsum
 rgyal ba kun gyi 'phrin las mi zad pa rgyan gyi 'khor
 lo'i bdag nyid/ / bstan srung yongs kyi gtso bo chos nor
 gter gyi bdag po skyes bu lung btsan 'khor dang bcas
 pa namas bdag la dgongs su gsol/ /
 'gro la phan bde'i 'byung gnas sangs rgyas kyi bstan pa
 rin po che dar zhing rgyas pa dang/ / bstan 'dzin gyi

skyes bu'i sku tshe dang 'phrin las spel/ / khyad par du
gdan sa (6a) chos 'khor chen po 'di nyid kyis⁸⁰ gtsos
pa'i yul 'khor thams cad du nad rmug 'khrug rtsod
'byung po'i gnod pa la sogs pa mi mthun pa'i rkyen
thams cad legs par bsrung/ 'phrin las rnams pa bzhi'i
sgo nas yid la ci bsam pa'i don thams cad myur du
'grub/ / mthar thug phyag rgya chen po la mnga' brnyes
pas⁸¹ yid bzhin gyi nor bu dang dpag bsam gyi shing
ltar bstan dang 'gro la phan bde'i rgya chen po myur du
'grub pa'i 'phrin las mdzad du gsol/ /
ye dharmā⁸² sogs/ /

IX) skyes bu lung btsan gyi⁸³ **bsangs dang gser
skyems ni/**

kyai/
padma thod phreng rtsa brgyud bla ma yi/ /
bka' rtags phyag rgya'i dbang thob yal gam can/ /
dge bsnyen skyes bu lung btsan lcam dral ni/ /
sras dang phyi nang blon po bran 'khor bcas/ /
'dir byon dam dgongs dgyes pa'i mchod sprin tshar/ /
mkho dgu⁸⁴ ma tshangs⁸⁵ med pa'i 'dod yon sprin/ /
mi zad nam mkha'i mdzod kyi 'khor lor 'bul/ /
bsngo bo 'bul lo bzhes la mthun rkyen spel/ /
dgra thul bgegs chom⁸⁶ ci bsam 'phrin las sgrubs/ /
dpal ldan rdo rje slob dpon sku tshe bsring/ /
mched lcam mi mthun nyer 'tshe'i yul (6b) las skyobs/ /
chos skyongs rgyal po'i mnga' thang chab srid spel/ /
phyogs las rnam par rgyal ba'i dpal stsol cig/ / /

X)
ces pa 'di 'ang gter chen rje'i bskul ltar rang 'byung
mkha' khyab rdo rje'i sbyar ba'o/ / /

XI)
bsam sbyor mi rje drag shod phun dbang nas/
dge sems sprin gral yod snang⁸⁷ mun pa sel/
bstan par thugs bskyed smon lam rgya che'i mthus/
rgyal bstan mi nub mtshan ma'i par⁸⁸ sgrub dges/
mtha' yas 'gro kun 'od mgon myur 'grub shog/
rkod⁸⁹ gri tshe ring stobs rgyal spun zung ngo/
par⁹⁰ 'di dpal ri dbu rtse la bzhugs/
dge'o/ manga lam/ /

注

- 1) 西から順に、チュメ、チョコレート、ウラ、タンの4つの谷。
- 2) Nebesky-Wojkowitz, René de: Oracles and Demons of Tibet. Book Faith India, New Delhi, India, 1993: 219. (First published 1957, The Hague.)
- 3) 今枝由郎：ケーブ・ルンツェン法要儀軌の校訂テキスト。佛教大学アジア宗教文化情報研究所紀要。第2号：1-13, 2006.
- 4) 原文中にはないが、日本語として読みやすいように訳者が補った箇所は〔 〕内に示し、固有名詞のチベット語表記や訳者による注釈などは（ ）内に示した。
- 5) 観想に先行する儀礼を通して、法要の実践者自身がイダムと一体となった状態をいう。
- 6) セー (bse) には、漆革 (ko bse)、漆 (bse shing)、犀 (bse ru)、犀の革、色付きの革 (bse ko)、など漆や犀に関連する用語が見つかる。一方、ネベスキー・ウォジコヴィッツ氏によれば、se、bse、bsveなどはbdud（ドゥー）やbtsan（ツェン）などのカテゴリーに含まれる悪鬼である。また、bse mdungは、犀の革でできた槍でもあり、悪鬼bse（セー）に帰属する槍でもある (Nebesky-Wojkowitz, 1993: p. 15, p. 301)。本書にいうセーも、特定の素材で作られた悪鬼に関わる物品を指すものと考えられる。
- 7) 梁の装飾 (kha bad) は、屋根の梁の突き出た部分に施された飾りを指す。
- 8) ツェン、スンマ、ダラはいずれもチベット固有の土着神であり、仏教の守護神として取り入れられたものたちである。
- 9) 背中に下げる盾のデザインが渦巻き模様をしていることを言ったものと考えられる。
- 10) キーキ・リラ：プムタン地方のチョコレート谷とチュメ谷の間にはキーキ・ラと呼ばれる峠があり、この峠を尾根沿いに上がったタルパリン・ゴンパの上手にケーブ・ルンツェンの住処があるとされる。
- 11) つづく「III 宣誓」でもみるように、祭祀を行う者は、護法尊を調伏し、それを従属させる立場にある。一方で、召喚され守護尊としての役目を果たす上では、護法尊は仏法を守

- る尊格として敬われる立場にもある。本テキストには、護法尊のもつこのような二面性がよく表されており、ケープ・ルンツェンに対して、「お前 (khyod)」という見下した呼びかけとともに、「お出ましになる (gshegs)」といった敬語が用いられている。
- 12) dus 'dzad の指し示す意味が不明のため訳出していない。
- 13) bar du (間に) とは、sngon tshe (原初) と da lta (今、現在) との時間的な中間点をさしている。
- 14) 「観想によって、供物に相応しいあらゆる品々は供物の大雲となる」と述べられるが、文脈から判断して、内容をよりの確に表すと思われる訳をつけた。
- 15) srid が「輪廻の世界」を指し、zhi bo が「涅槃の世界」を指すととらえて、広く「全ての世界」「あらゆる世界」を意味すると解釈した。
- 16) 転写テキストの「x」は、先行する句や音節を繰り返すことを示した記号であるが、ここでは、シュリーラージャ サパーリを繰り返すのか、サパーリのみを繰り返してシュリーラージャ サパーリ サパーリ とすべきか、判断できない。
- 17) 原語は「二取」(gnyis 'dzin) であるが、ここでは主体と客体という二元論的な思考を指し、迷いがある状態、すなわち「分別」を意味すると考えた。
- 18) 原文では、「智恵の世界に解放する」(ye shes kyi dbyings su bsgral ba) と述べられるが、ここでは、「障害とならない状態に導くこと」を指すと考え、「滅却する」と訳した。
- 19) 四業 ('phrin las bzhi) とは、息災 (zhi ba'i 'phrin las)、増大 (rgyas pa'i phrin las)、加持 (dbang gi 'phrin las)、忿怒 (drag po'i 'phrin las) の4種類の行いを指す。
- 20) オーゴン ('od mgon) は、文字通りには「光の守護者」という意味になるが、ここではおそらく、仏のような境地を指す言葉であろうと考えられる。
- 21) E) 'tshub, O) 'tsub
 22) R) gtibs, O) ltib
 23) E) lcog, O) lcogs
 24) R) lhun po, O) lhun pa
 25) R) sked rags, O) sker rags
 26) E) rmog zhu, O) rmog gzhu
 27) E) stag dong, O) stag gdong
 28) E) gzig shubs, O) gzig shub
 29) E) mthur, O) thur
 30) E) gong rmed, O) gong smed, R) gong smad
 31) E) lding ba, O) sding ba
 32) R) du, O) tu
 33) R) âh, O) ah
 34) O) dre mo, R) bra mo
 35) O) glogs, R) glog
 36) E) spyang drangs par, O) spyang drangs
 37) O) ra, R) rā
 38) O) dus 'dzad, R) 'dus dzad
 39) E) dbyangs kyis, O) dbyangs kyi.
 40) O) bha, R) bhā
 41) R) hoḥ, O) ho
 42) E) bsam mi khyab pa, O) bsam mi kyab pa
 43) R) myong na, O) myang na
 44) O) bsdus, R) 'dus
 45) R) gtor bsngo ni, O) gtor sngo
 46) O) bha, R) bhā
 47) E) stong pa'i ngang, O) stong ba'i ngang, R) stong phā ngang
 48) R) dbugs, O) dbu
 49) E) khar rje, O) khar rjes
 50) R) lnga'i, O) lnga yi
 51) E) dbud rtsi, O) dbud rtsi'i
 52) R) thā, O) tha
 53) R) rā dza, O) ra dzā
 54) O) pā, R) pa
 55) 転写テキストの「x」は、先行する句や音節を繰り返すことを示す記号である。
 56) R) nyid kyis, O) myid kyi
 57) O) 'dreg R) 'dregs
 58) E) rnam, O) rnams
 59) O) 'gro 'dul mkhan, R) 'gro 'dul na
 60) E) gyi, O) gyis
 61) E) padma'i, O) padmo'i
 62) R) padma rā ga'i, O) padma rva ga'i
 63) E) gshog ldan, O) shugs ldan, R) thugs ldan
 64) E) kyis, O) kyi
 65) E) dam nyams, O) dam mnyam
 66) E) bka' sdod, O) bka' gdod

- 67) R) bstod par、O) bstod pa
68) E) de'i mthus、O) de mthus
69) R) rgyas、O) rgyal
70) R) tshar gcod、O) tshar bcod
71) R) phun sum tshogs、O) phun gsum tshogs
72) R) bskang、O) bskangs
73) E) kyis、O) kyi
74) R) bskang、O) bskangs
75) E) gyis、O) gyi
76) R) bskang、O) bskangs
77) R) bskang、O) bskangs
78) R) mthar thug、O) mtha' thug
79) R) drag、O) dra
80) E) kyis、O) kyi
81) E) mnga' brnyes pas、O) mnga' rnyes pas
82) R) dharmâ、O) dharma
83) R) gyi、O) gyis
84) E) mkho dgu、O) mkho rgu
85) E) ma tshang、O) ma 'tshangs
86) E) bgegs chom、O) bgegs 'chom、R) bgegs
tshim
87) yod snang: 'yod med go bzlog snang' (optical
illusions, when one images to see what is not
existing, or reverse) を指すと解釈した (Jäschke
p.515)。
88) E) par、O) spar
89) E) rkod、O) skod
90) E) par、O) spar

Summary

Translation of the Propitiation Liturgy of Skyes bu lung btsan, the Protective Deity of Central Bhutan

Ai Nishida¹⁾, Yoshiro Imaeda²⁾, Seiji Kumagai²⁾

1) Kobe City University of Foreign Studies

2) Kokoro Research Center, Kyoto University

Skyes bu lung btsan is the protective deity of the four valleys of Bumthang in Central Bhutan. His name, as René de Nebesky-Wojkowitz pointed out is in fact, not a proper name but a generic term, "the nobly-born valley-*btsan*." However, in the specific context of Bumthang, there being only one Skyes bu lung btsan, its real name is never mentioned and Skyes bu lung tsan is used as if it is a proper name.

This paper presents translation and revised critical edition of the text of a short propitiation liturgy of Skyes bu lung btsan, whose critical edition was first published by Yoshiro Imaeda in 2006. The liturgy is composed of the following eleven parts: visualization, invitation, taking of oath, offering, presentation of sacrificial cakes, praise, fulfilling, petition, fumigation offering and "golden-drink" ritual, colophon of composition, and colophon of edition. As can be seen from the composition, the text is a typical representative work of this type of literature of Tibetan Buddhism. It was written by the 15th Karma pa Zhva nag, Rang 'byung mkha' 'khyab rdo rje (1870/71-1921/22), and the blocks were carved in the early 20th century which are kept in Thar pa gling monastery up until the present. It has been reproduced with a modern procedure in India and is in wide circulation in Bumthang because of a constant popular demand for the text.